



八戸高専だより

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16番地1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <http://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

第154号 平成30年8月



目次

グローバルエンジニア育成に向けた新しい展開 (校長より) …	1
3 主事から …	2
授業参観日を終えて …	3
1 学年主任から …	3
新入生紹介 …	4
専攻科新入生紹介 …	8
今年の編入生・留学生紹介 …	9
新任教職員紹介 …	10
北辰寮から …	12
国際交流活動 …	13
就職・進学状況について …	14
男女共同参画委員会から …	15

キャリア教育・支援センターから …	15
COC/COC+事業 …	16
図書館の今年度の予定 …	16
相談室から …	17
第71回青森県高総体結果 …	18
第55回東北地区高等専門学校体育大会結果一覧 …	19
学生表彰 …	21
「保護者の声」設置について …	22
授業料等の納付について …	22
学生課学生係からのお知らせ …	22
平成30年度 公開講座 …	22

グローバルエンジニア育成に向けた新しい展開



八戸工業高等専門学校長

圓山重直
(まるやま しげなお)

本年創立55周年を迎えた八戸高専は、グローバルエンジニアの育成に向けて、更に発展しようとしています。高専生の活躍と、次世代高専に向けたいくつかの試みを紹介したいと思います。

平成27年度より、全国51高専のトップをきって導入した4学期制と自主探究学習プログラムは、本年度で4年目を迎えます。このプログラムは、自らが課題を決めて、調べて、実験・観察をし、結論を出すものです。これまで行われてきたように、「問題が与えられてそれを解く」教育とは異なり、「課題を自ら発見し解決する」学習で、時代を先取りした教育です。

本年度から、秋学期を一部改正し、1・2限に授業を入れました。これは、秋学期にも学生に毎日登校してもらい、学習習慣が途切れることを防ぐためと、演習などで基礎学力の充実を図るためです。ただし、海外自主探究や国内フィールド研究では、許可をもらえば公欠の手続きも可能な制度としています。

そのほか、課題設定のための「自主探究デイ」の新設、学生たちが研究の途中経過を発表し、討論する「学生相互報告会 Student Peer Discussion」の実施など、多くの新しい仕組みを導入しました。

この教育成果が各所に現れてきました。11月に開催される自主探究の成果発表会では、学生の堂々とした発表態度や研究内容の質の高さに、外部からお出で頂いた他高専の校長先生や文部科学省の方々に大変高く評価されています。発表会には、学生の保護者の方々にも大勢参加頂いています。学生が保護者の皆様に丁寧に研究内容を説明している様子は、普段の家庭生活とは異なる、学生の素晴らしい面を表しています。

自主探究の研究成果は、校外の学会等でも発表され、本校学生が他大学の学生・大学院生を凌いで、学会発表賞などを受賞しています。これは、自主探究を行いながら、学生間でのディスカッション等を通して、思考の論理性、科学性、プレゼンテーション能力が培われたことの成果でもあります。

このような学生の活躍は、地元の新聞等にも数多く取り上げられ、地域の皆様に高く評価されております。

自主探究活動は、海外に展開しています。本校学生がシンガポールやモンゴルの研究テーマを設定し、海外で現地学生や教員と協力して、問題解決に取り組んでいます。このプロジェクトに1年生も参加し、立派な成果を上げてきました。

日本の主要企業は、海外におけるビジネスが主流になっており、これからの技術者は、海外で活躍することが求められています。自主探究で養われた能力は、学生が目指す「グローバルエンジニア」には不可欠なものです。

来年度から本校では、タイからの留学生を1学年から定期的に受け入れることになりました。それに伴い、国際寮への改修を一部で行っております。この寮は、留学生と日本人学生が一緒に生活する、混住型シェアハウス寮で、個室と共通のリビング・台所・シャワー室を備えた新しいタイプの寮です。ここに入る日本人学生は八戸に居ながらにして、国際感覚を身につけることができます。

本年は、国際自主探究による海外研究を拡充する予定です。また、優秀で志のある学生が容易に海外に行けるように、渡航・滞在経費を全額負担する「八戸高専国際自主探究校長特別奨学金」制度を本年度から実施します。

昨年から、進めてきた「あいさつ」運動も学生に浸透してきたようです。外部からのお客様が、口をそろえて「八戸高専の学生はみんな大きな声で挨拶してくれるので素晴らしい」と言ってくれます。校長として、誇らしい思いです。

でも、校内で校長と会うとき、なんとなく照れくさそうに無視する学生もいます。校長にも元氣よく挨拶をしてくれたら、とても嬉しいと思っています。また、家庭でも保護者の皆様に挨拶するように、学生諸君にお願いしています。保護者の皆様の家庭では如何でしょうか。もし、お子様が小さな声で挨拶をしたら、挨拶を返して頂きたいと存じます。

3 主 事 か ら

秋学期が変わります

教務主事

武 尾 文 雄

前号の高専だよりでもお知らせしましたとおり、今年度から秋学期の内容が大幅に変わり、全員が毎日出校することになります。1・2校時は全学年で授業となり、3・4校時も一部は選択科目の授業、それ以外の時間は6校時まで自主探究です。1～3学年は毎日、クラス混合や学年混合の学生相互報告会（SPD）、ユニット活動などのプログラムが生まれ、週に一度、特活もあります。

1～3学年の1・2校時に開講される「集中数理解習」と「集中英語演習」は、演習問題を解くことで学習習慣の継続と、専門科目の基礎であり大学編入等でも必要となる数学、物理、英語の学力向上を図ることが目的です。学年を混合した習熟度別のクラス編成となりますので、下学年レベルのクラスに配属される場合もありますが、その内容をしっかり復習することが今後の挽回に繋がるチャンスと捉えて頑張ってください。なお同科目は現2・3学年については選択科目とせざるを得ませんでした。今年度の1年生からは実験・実習等と同様、進級に直接関わる重要な科目として位置づけています。したがって学校としては2・3年生についても必修科目扱いと考え、全員が履修し単位を修得するよう指導します。また秋学期中に校外での自主探究活動が必要な場合には、保護者の同意と担当教員の許可を得て公欠の扱いとします。

短い期間ですが、皆さんにとって充実した秋学期となるよう期待しています。

変革の中での厚生補導

学生主事

河 村 信 治

本校が他高専に先駆けて推進する「自主探究」、「国際交流」や「地域貢献」等の取組みは、大枠として国内外の社会の変化の中で日本の教育現場全般が模索する流れであり、その大きな変革の中で、教務や寮と連携しながら厚生補導のルールや方法も修正や変更を重ねてまいります。

高専特有の立場と環境をふまえつつ部活等課外活動の在り方を見直しています。文科省の中学・高校向け指針に準拠し、今年度から課外活動の時間は平日18:15まで（大会前等に許可する強化練習

でも19:15まで）としました。日曜・祝日は原則として活動も休み、その他平日も1日は休養日としています。また学寮閉鎖期間中の合宿については今年度の学事日程の変更に合わせて、期間や方法について検討しています。

生活指導面では、いじめ・ハラスメントやネットワーク上での発言、ほか違法行為全般に対しての社会全体の目が厳しくなり、問題行動に対して学校としても厳しい指導や処分を求められる事例が残念ながら多くなっています。

来年度より1学年次から海外留学生を受け入れることが決まり、生活指導ルールも本格的にダイバーシティ（文化的多様性）対応が必要になります。制服等文化的規定についても、グローバルな価値観と、伝統か単なる慣習かの葛藤を重ねながら見直していく可能性があります。

変革期を迎える北辰寮

寮務主事

中 村 重 人

今年度の北辰寮は、入寮希望者が女子、男子ともに減少したため、N棟を使用しない状態で見送りました。寮生数が平成25年度で470名程度であったものが少しずつ減少し、今年度は359名となりました。このような毎年の寮生数の減少により、学寮運営費の全徴収額も減少してきましたが、一方で、恒常的にかかる支出はそれほど減らず、昨年度も経費節減に努めましたが、重油やガス等の単価の上昇もあって、苦しい学寮運営となりました。こうしたことから、学寮運営費を実質値上げさせていただきました。申し訳ございませんが、ご理解いただきますようお願いいたします。

今年度は、E棟の改修工事が行われることになりました。E棟は国際寮となり、日本人学生と留学生の混住するフロアを作る予定です。工事のため、秋学期の部屋替えの際に、E棟寮生をN棟とW棟1階フロアに移動させる予定です。E棟を空けても、全寮生が学寮に入れるよう計画を立てておりますが、全寮棟がほぼ満杯状態となるため、いろいろとご迷惑をおかけするとは思いますが、ご容赦くださいますようお願いいたします。

このように、北辰寮の入寮希望者が減少する中、八戸高専の国際交流事業は拡大しており、留学生の増加が見込まれています。新しい時代の学寮の姿を模索していく時期になっていると感じています。今後とも、学寮の運営に対し、ご理解、ご支援くださいますようお願い申し上げます。

授業参観日を終えて

教務主事補 本 間 哲 雄

5月19日（土）の授業参観につきましては、雨天にもかかわらず152名の保護者の皆様からご参加を頂きました。ご多用中にもかかわらずご参加いただき厚くお礼申し上げます。授業参観を通して、普段の学生の姿や教育方針をご覧いただき、新しい「気づき」の機会であったと存じます。授業参観アンケートには、「満足」「ほぼ満足」との回答を回答者の7割以上の皆様から頂戴しました。また、アンケートでご指摘いただいた事項については、我々教職員にとって新しい「気づき」であります。全ての教職員で情報を共有し、今後の授業改善に役立ててまいります。冬学期の12月10日（月）から14日（金）までにも、保護者の皆様もご参加いただけるオープン授業週間を設定しております。お気軽にご参加いただき、改善を重ねる本校の教育に忌憚のないご意見を賜れば幸いです。



1 学年主任から

がんばれ 1年生！

4月2日（月）午前10時に入学式が厳かに挙行され、174名の新生を迎えました。

保護者の方におかれましては、朝8:30の受付に始まり、入学式、関係主事の挨拶、コース長との懇談、学級担任との懇談、学生さんと教科書購入と午前中の行事に加え、午後から入寮手続き。節目であり喜びであり、大変疲れた一日であったかと思えます。学生さんは、その晩の学寮での新生歓迎会、次の日は、8:35のSHRに始まり、始業式、HR、クラス写真撮影、午後からは入学者研修会として、教務・厚生補導・相談室全般についてのお話、図書館利用のガイダンス、健康診断と、学生さんも大変疲れたことと思えます。担任も疲れましたが、新しいところで頑張る、頑張らせる保護者と学生さんの深い絆を感じました。学寮の手

第1学年主任 蝦名謙一

続きを済ませ、寮務主事のお話も聞き、学生さんの笑顔を見て、「ホッ」としてお帰りになられた保護者の姿がとても印象に残りました。

5年間の高専時代には、いろいろなことがあるでしょう。克服しながら自分自身をよりよく磨き、就職した際には、立派な社会人で、全国のどこかで、これから出会う人を気遣い、元気に活躍してほしいものと願っております。

クォーター制導入から4年目、春・夏・冬学期と集中して勉強するスタイル、秋学期には発表会のある自主探究学習と称して「学びとり教育」を目指した探究活動をこなして行かなければなりません。只今、テーマを募っているところであります。

八戸高専に来てよかったと想えるように！

新入生紹介



熟慮断行！

L1担任 蝦名謙一

春学期、夏学期と保健体育の授業がなく、毎日のSHRでの顔合わせで、なかなか一人ひとりを覚えられず、個人面談などをして、ようやく覚えてきている今日この頃であります。

入学して3ヶ月が過ぎました。入学当初から見れば、寮生活や学校生活に、大分慣れてきたようでもあります。ひとりひとり、クラスの友達もだいぶできたようです。この頃、にぎやか過ぎるクラスになりましたが、「親しき中にも礼儀有り」と申します。授業と休み時間の区別をしっかりと、友達を思い、育まれていく中で、それぞれに自分を律しながら自立を目指し、自分で、よく考えて、判断して、行動した成長を願います。

「学校に来る」「授業で寝ない」「教員室を訪ねる」の学級目標のもと、今のところ様々な活動をよくこなしております。毎日の自分の生活の中で、無理のないリズムをとり、しっかり睡眠時間をとって、授業で覚えるような生活を心がけて、自分の夢に一步步近づいてほしいと願います。



自主探究学習、担任もコツコツ頑張っております。
どうすれば精度が上がるか？
ナイスショットです！

10年目も動物園

マテリアル・バイオ工学コース1年
佐々木 伸太
(三沢市立第五中学校出身)

「今のクラスはどんな感じ？」聞かれたら『動物園』という言葉が出てくるほどに自分のクラスは、よく言えばにぎやか、悪く言えば騒がしい、クラスだと毎年感じています。僕はこの10年目もまた動物園の飼育員になってしまいました。

僕達のクラスはとても自由。そして個性も強い。更にとってもたのしい。そんな明るい言葉しか出てきません。僕はまだ3ヶ月しか経っていないのにも

かかわらずこのクラスでよかったと思っています。

しかし、その明るさゆえの欠点というのもあります。その欠点をこれからの生活で直していければ更に素晴らしいクラスになると思うので皆さんがんばっていきましょう。



担任代行のSHR風景

にぎやかな学級

マテリアル・バイオ工学コース1年
松橋 尚哉
(八戸市立是川中学校出身)

入学してから約3ヶ月が過ぎ去ろうとしているあらためて考えてみるとなんだか、時の流れは早いものだと感じます、松橋です。

ところで我々L1がどのようなクラスであるかと一言で表すと「明るくてにぎやかなクラス」です。休み時間はいつも、楽しそうに会話するクラスメイトたちの姿や、美味しそうにお菓子を頬張る学生の姿を見ることができます。

この約3ヶ月の間に、我々L1のクラスではお花見をして楽しんだり球技大会でクラスメイトとの絆を深め合ったりしました。逆に春学期到達度試験という楽しいとは言えないこともありました。がクラスみんなで乗り越えてきました。

僕達、L1のこれからの高専ライフは楽しいことだけとは限りません。そんな時でも、我々が誇る学級担任蝦名謙一先生の力を借りて一年後には、「いやあ、L1は楽しかった！」と、言えるようなクラスにしたいです！



球技大会の練習風景

新入生紹介



New Try, New Life

L2担任 菊池秋夫

八戸高専では、青森県全体および岩手県からも学生が集まってきています。津軽の学生が南部弁になり、逆に地元出身の学生が津軽出身の学生と友達になって、津軽弁が混じるというケースもよく見られます。言葉の違いは、その言葉を話す文化の違いにも通じます。国際社会で活躍する人材を養う、という意味があります。そのためには、英語や他の外国語はコミュニケーションのツールとしてももちろん重要です。しかし、それ以上に自分の言葉と違う言葉を話す人・自分の文化と異なる文化の価値観を認め、自分を高めていく姿勢が大事だと思われま

す。と、かっこいいことを書きましたが、簡単にまとめると「食わず嫌いをなくそう」ということです。言葉と同じく食べ物も文化の一部です。私の地元は海なし県なので、もちろん海の魚はスーパーで売っていましたが、八戸に来てから朝市などで売っている鮮度よくなおかつ安い魚に驚きました。私は、子供のころから貝は少し苦手でした。こちらに来て、ツブ貝、そしてナマコを初めて食べて、最初は抵抗ありましたが、今では好物になっています。

逆に、八戸の生活に慣れてきていて、地元に戻った時、鮎や泥鰌といった川魚が美味しいことに改めて気づきました。地元の旅館に泊まった時に夕食で出された刺身は、マグロなどの海水魚ではなく、鯉やイワナでした。大げさにいうと、海水魚文化という異なる文化に触れることによって、自分のもともとの文化を再認識したということになるかもしれません。文化の引き出しを増やすことで、より多様性に豊かな未来につながるのではないかと思います。教室で、部活で、シンガポールやモンゴルといった海外研修で、様々な文化と触れ合って、どんどん引き出しを増やして充実した高専生活を送って行ってください。

高専1年目

電気情報工学コース1年

佐藤光史

(十和田市立三本木中学校出身)

中学3年の3月、私は八戸高専で勉強ができると言う喜びと、勉強に付いて行けずに、留年してしまうのではないかと不安でいっぱいでした。それは、L2のほとんどの人も同じだと思います。

しかし、春学期の生活で不安はなくなりました。周りの先生や先輩・友人に支えられて高専生活を送ることができています。私のクラスの先生や仲間は、本当に個性豊かで、面白い人がたくさんいます。私の高専生活1年目がこのクラスで本当に良かったです。私もこのクラスに貢献したいと思っています。

そんなL2ですが、自由奔放であるがために課題もあります。今のL2ならその課題を克服できると思います。これからの高専生活をより良いものにするために、学級の一員として皆と協力しながら変えていきたいと思っています。

L2の日常

機械システムデザインコース1年

織田零央

(八戸市立島守中学校出身)

「L2って静かだね。」この言葉を何回か耳にしたことがあります。他クラスのようにワイワイガヤガヤしていないとのこと。そんなことはありません！このクラスにいて、毎日が楽しいと確信しています。

入学当初はたくさんの不安をそれぞれに胸にしていたと思います。その内の一つは交友関係です。誰もが最初は抱える不安だと思います。しかし、L2の皆とともに過ごしていくにつれそんな不安は消えていきました。今ではもう仲の良いにぎやかなクラスです。

入学してからもう3か月が経ちました。短かったけどとても濃い3ヶ月だったと思います。まだ終わりではありませんが、このメンバーで過ごす時間もカウントダウンが迫っています。このクラスがなくなるのは悲しいですが、限られた時間を大切に一つでも多くの思い出を作っていきたいと思っています。

新入生紹介



素敵な再会を目指して。 まずは、奇跡の出会いを。

L3担任 齋 麻子

毎年、この号のこの紙面に寄稿して何回目となるのでしょうか？もう数えきれないほどの文章を投稿しているように思います。今年もL3の担任となりましたので、今年も寄稿いたします。

さて、このように1年担任のポジションが板についてしまった私ですが、「男女共同参画委員」という顔も持っています。近年戦略的な女子学生のキャリア支援として、卒業生と再会するチャンスが多くなりました。卒業生との再会は、学外発表の引率で「ばったり」というケースや、「本校の卒業生の活躍を取材する」ために職場や研究室に会いに行くなど、さまざまな形で再会しています。そこで再会した卒業生たちは、国内外を飛び回る社会人となっていたり、研究者になるべく大学院で研究に邁進していたり、と、私にとって素敵な再会の機会を与えてくれています。「この職に就いて良かったなあ」と感じさせてくれる再会が、そこにはあります。そして、卒業生の話を聞く中でわかってきたことがあります。皆、口をそろえて言うのは、「高専時代の友人が今現在も心の支えになっている」と言うことです。どうやら、本校での出会いが生涯に渡る友を創り出すのだということがわかってきました。

今年のL3の皆さんも、本校に入学し、新たな出会いがあったと思います。馴染むのが早い人も、それなりの人も、わりと生き生きとL3の教室で楽しく過ごしているように担任として見えています。1年生にとって、まだまだ卒業後の未来を描くのは難しいでしょう。ですが、これからの未来を見据えて、5年間じっくりと熟成させて、生涯に渡る友を作ってほしいと思います。そのきっかけが、この最初のクラスであると良いかと、願っています。

今現在、何名かの学生や卒業生から「私の同僚になって戻ってきたい！」という嬉しい言葉をいただいています。そういえば、川口先生も本校を卒業する時、私に向かって「先生の同僚になって戻ってきます！」と宣言して卒業しました。そんな彼女も本当に同僚になりました。川口先生に続く「同僚になりたい」卒業生となり、素敵な再会を与えてくれたら…と、今年のL3学生との奇跡の出会いに期待しています。

最高のクラス

電気情報工学コース1年
新山 慶介
(八戸市立是川中学校出身)

入学した時、人見知りなので、友達ができるかとても不安でした。中学でも学年が上がって行くうちに、男子のノリについていけず、一人の時間が多かったので、正直とても怖かったです。しかし、近くの席の人に話をかけてもらううちに、徐々に素の自分を出せるようになったことが、本当にうれしくて、自信を持てるようになりました。

このL3のクラスは、決して偏見を持たず、お互い認め合うことが普通にできる最高のクラスだと思っています！普段からずっと真面目な人、ふざけてわいわいやっている人、シュールなギャグで笑わせてくれる人、いろいろな人がいます。ですが、クラスがまとまるイベントでは、助け合い、協力している雰囲気があり、とても過ごしやすいです。今、このクラスで本当によかった！1年後もこのクラスでよかったと思えるような、他のクラスに負けないうくらい良いクラスにしたいです！



自主探究 Day でディベートを楽しむ姿

学生の声

マテリアル・バイオ工学コース1年
早坂 来翔
(二戸市立御返地中学校出身)

4月に入学してから2ヶ月が経過しました。初めて会う人たちに囲まれて、私たちの高専生活はスタートしました。最初は友達ができるのか不安に思っていましたが、今ではたくさんの友達ができ、毎日楽しく生活を送ることができています。高専では、1つの授業が90分と、中学校の2倍弱の時間です。しかし、教えて下さる先生方はとてもユニークな人ばかりで、90分授業にもかなり慣れました。時々ある45分の授業が短く感じるほどです。高専の醍醐味である専門教科の授業も充実しています。私はCコースで、製図や先生方の研究について授業を受けています。学習と部活動を両立させて、これからも楽しい高専生活をしていきたいです。

新入生紹介



私も1年目

L4担任 和田 和幸

八戸高専に着任して3年目になりました。今年度は初めて1年生の担任という大役を任されることになりました。入学式当日、1年生の皆さんと緊張した面持ちで対面した最初の特活がとても印象的で、つい先日のように思い出されます。私は非常に緊張していましたし、あの日は何とも刺激的な1日でした。この文章を書いているのは夏学期に入ってからですが、春学期は何をしていたのか思い出せない位の記憶喪失(?)になっています。月日の流れる早さには驚いてしまいます。

L4の皆は元気が良く、反応もとても良いと感じています。クラスの役員を決めるときや、スポーツ大会の出場メンバーを決めるときも積極性に出ている様子を見て大変頼もしく思っていますし、とても助けられています。他の先生からも「L4は元気が良いですね」、「一人一人がしっかりしていますね」と言った声が寄せられています。L4の皆、良かったね!

私が皆さんと同じ年齢だった頃を振り返ってみますと、勉強と部活動に没頭する程に取り組んでいた思い出がすぐに浮かんできます。詳細な部分はもう忘れてしまっていますが、「あの頃は楽しかったなあ」といった記憶が心に刻まれている感覚が今でもあります。

高専に入学したての頃は「勉強を頑張ろう」、「部活動を頑張ろう」、「習い事を頑張ろう」等色々な事に目標を立てたのではないかと思います。そして卒業式を迎えた日には「あー良かったなあ」、「これだけは頑張ったぞ」と思えるようになって貰えたと、充実した高専生活を送れた証拠になるのではないかと個人的には思います。その為のお手伝いとして色々動いて行きたいと考えています。

至らない所も多々あると思いますが、皆との貴重な1日1日を楽しみ過ごしに行けたらと思います。1年間よろしく願いいたします。

元気いっぱいL4

環境都市・建築デザインコース1年

及川 紗栄

(八戸市立長者中学校出身)

L4は一人一人の個性が強いクラスです。入学式の日からとてもにぎやかで明るいクラスです。そのおかげで毎日がとても楽しく過ごせています。

最近では到達度試験も終わり一安心かと思いきや次の到達度試験に向けて一生懸命授業を受け、休む暇はないはずですが。しかし、せっかく仲良くなった友達と遊びたいので、今はENJOY中なのであります。

その一方で普通の高校とは違い、大学と同じような制度に焦りと不安感を感じています。自分自身が無事に進級できるかどうか考えてしまいます。その不安をなくせるように、これからも精いっぱい努力していこうと思います。

1年かぎりの混合クラスL4でたくさんの思い出をつくり、勉強もおこたらず楽しみたいです。

「今まで」と「これから」

機械システムデザインコース1年

金澤 遥真

(八戸市立明治中学校出身)

私の中学生の頃の学年は1学年あたり30人弱、しかも小学生から、人によっては幼稚園の頃からという長い付き合いのため、誰とでも話せていました。そのため自覚はありませんでしたが、私は相当な「人見知り」らしく、入学した当初は自分から話しかけられずにいました。

そんな時、とあるクラスメイトから話しかけられ、同じ部に入ることを知り仲良くなりました。部活でも仲間ができ、何とかなじめてきたころにテストがありました。それまで楽しむだけだった生活から現実に引き戻されました。

しかし勉強に身がはいらず、あっという間に日々は過ぎ去り、テスト本番。まったく歯が立たず、結果は散々なもの。中学とはレベルが違うことを思い知らされました。しかし、現実が変わりません。私は「今まで」の自分と決別し、「これから」に向き合わなければなりません。文武両道、気合いを入れなおして頑張ります!

専攻科新入生紹介

専攻科での生活

機械システムデザインコース1年
程 熊 幸 佑

専攻科に入学して約3ヶ月が経ちました。私は本科では通学生だったという事もあり、生活環境はほとんど変わりません。しかし、授業内容は変わりました。座学は殆どが本科の復習です。低学年で勉強した忘れかけている内容や本科で十分に理解することが出来なかった部分を理解し、より知識を高めることが出来ています。また、1週間に3回の実験があり、色々な分野の専門的な実験をすることが出来ます。

さらに、何よりも大きく変わったのはクラスの人数です。私のクラスは4人しかおらず、少人数なので授業に集中できます。また、グループ分けは基本的にすることはありません。そのため本科ではあまり話さなかった人とも話すことが増えました。これからさらに授業が大変になり研究が忙しくなるとは思いますが、仲間と協力して充実した専攻科生活を送ろうと思います。

切磋琢磨

マテリアル・バイオ工学コース1年
細 井 遼 太

専攻科に入学し、約3ヶ月が経ちました。現在は多くのテストやレポート、課題に追われる日々を送っています。大変ではありますが、同時に充実した日々であると思っています。専攻科では他学科の学生と共に学ぶことも増え、自身の知識や交友関係を広めるとても良い機会であると考えています。

また専攻科では後期にインターンシップや海外研修など、学外研修にも恵まれていることも特徴です。私は就職希望なので、自分が希望する企業へのインターンシップへ参加し、来年の就活に向けて準備を進めたいと思います。

専攻科で過ごす2年間はあっという間に過ぎていきます。その中で少しでも多くの事を学び、仲間たちと切磋琢磨しながらこれからの生活を送りたいです。

専攻科での新たなスタート

電気情報システム工学コース1年
武 田 一 希

4月2日(月)、入学式が行われ、専攻科生としての学生生活が始まりました。およそ5分の1に減った学友に寂しく思いながらも実験やレポート、専攻研究に取り組む日々を送っています。専攻科での授業は本科では学ぶ事が出来なかった原理や公式の理屈、「何故そうなるのか?」が解決される授業が多くあります。非常に密度が濃い授業が展開されるので、受講して自らの成長を感じることが出来ます。また、後期にはフランスでの海外研修が控えています。初めての海外留学で心配や緊張することも多々ありますが、それ以上に3か月間を海外で過ごせることが楽しみです。

高専での生活は今年で6年目になりますが、専攻科での2年間というものはあっという間だと思っています。その2年間を無駄にしないためにも、日々勉強・研究に励んでいきたいです。

専攻科

環境都市・建築デザインコース1年
酒 井 大 誠

本科を卒業し専攻科へ入学してから、早くも3ヶ月が経とうとしています。クラスの人数が少数の授業や、一人暮らしの生活など、本科の時とは違う、環境の変化があり、忙しく悩まされながらも、充実した時間を過ごしています。専攻科では、専攻実験や特別研究の時間が多く設けられており、知識を得るとともに経験を積むことができます。また、後期にはインターンや学外研修などにも参加する機会があるため、積極的に参加し、自分自身を高めていきたいと思っています。

専攻科は、2年間と短い期間ですが、意識を変えるだけで一生の宝となる、かけがえのない時間になります。一つ一つを丁寧に取り組んでいくことを目標にし、未来の進路に繋がる、後悔のない2年間にしたいと考えています。

今年の編入生・留学生紹介

留学生的生活

マテリアル・バイオ工学コース3年
チャンタチョット パシット
(タイ)

高専に入学してもう3ヶ月になりました。八戸に来たばかりのときは悩んでいることがたくさんありましたが、先生達と留学生の先輩が優しく助けてくれました。今は、日常生活にだんだんとなれることができました。学校に初めて登校した日は、特に緊張していました。新しい友達にアプローチすることや、日本語で伝えることは大変でした。それでも、クラスで一緒に過ごす、だんだん良い友達になることができました。困ったことがあったときは、皆さんがいつも優しく助けてくれたのは、本当に感謝しています。できれば、私もみなさんに恩返しをしたいと思っています。英語などでみなさんの手助けをしたいと思っています。これからも頑張りますので、C3の皆さんだけでなく、先生方や学校の皆さんもよろしく願います。



高専に編入して

電気情報工学コース4年
新岡 洸星
(五所川原工業高等学校出身)

高専に編入学して2ヶ月がたちました。時間が流れるのは早いものだと実感しています。

始業式の日には友達ができるかと不安でしたが、話しかけてくれる人がいて友達も何人かできました。いろいろ大変なこともあります。会社に就職して頑張っている友人と話をしていると自分も頑張らなければと思います。

高専に入学して感じているところは、高校との授業のレベルやスピードが違うところ。内容は高度になり、進むスピードも高校とは比べられないほど早くなっています。高校の時のようにしてはついていくのは難しいことを実感しています。そしてクラスの人たちのレベルも高いことを知りました。同じ量を勉強していても覚える早さや理解する早さが違うところが到達度試験で実感しました。この反省を生かして、夏学期は今より良い成績をとれるように努力していきたいです。せっかく高専に編入学したからには、いい成績をとってさらに大学への編入学ができるように日々努力を重ねていきたいです。

これからの2年間を、充実したものにできるようにしたいです。

留学生的生活について

電気情報工学コース3年
エルデネバト トウグストウグルドウル
(モンゴル)

私は日本に来てもう二か月になります。モンゴルで日本語を一年半勉強してから来たので、留学生生活は思ったより楽しいです。しかし、わからない漢字がたくさんあり、また先生たちの漢字の書き方が様々で、知っている漢字でも読めなかった場合もあって、たくさん問題が出てきました。

一番大変なのは、レポートを書くことです。でも、クラスのみんや先生たちが助けてくれてうれしいです。そして、モンゴルからの先輩もおりますので、色々教えてくれて、日常の生活が楽しくなりました。それに球技大会などの行事がたくさんあるので、留学生生活はとても充実しています。

これから生活していく上で、わからないことがたくさん出て来るとおもいます。でも、最後まであきらめずに頑張りますので、先生・先輩・学生の皆さん、よろしく願いいたします。



最高

環境都市・建築デザインコース 4年
太田 錬
(八戸工業高等学校出身)

三年間で、すでにグループが出来上がっているクラスに途中参加することにとっても緊張していましたが、Z4の皆は優しい人ばかりでこれからの二年間が楽しみになりました。(Z4の皆！こんな騒がしいやつ受け入れてくれてありがとう！本当にZ4で良かった！惚れました！これからもよろしく！)また、部活のメンバーや先輩、後輩、友達にも恵まれ、人間として温かい学生が多くてとても良い学校だと思いました。

学習面では、工業高校にいた時とは比べ物にならないくらい難しい講義が多く、授業時間や量、質が上がったのはもちろんのこと、課題も多くなりました。しかし、初めての到達度試験は、ギリギリの教科もありましたが、寮生をはじめとする仲間のおかげで乗り越えることができました。

時間の使い方を考え、先を見据えて努力を怠らぬよう精進していきます。よろしく願います。

新任教職員紹介

- ① 氏名
- ② 出身地
- ③ 所属・職名
- ④ 前職

- ① 横田 実世
- ② 京都府京都市
- ③ 総合科学教育科・教授
- ④ 米国陸軍環境科学研究所

今年度4月に総合科学教育科に着任いたしました。科目は英語、特にサイエンス・エンジニアを対象とした学生の将来のグローバル化に対応する為のお手伝いです。着任前はアメリカに長年住み、中西部、南部、西海岸、そして東海岸マサチューセッツ州のボストン近郊などにおりました。専門は形質・自然人類学という理系の人類学ですが、アメリカの産官学で様々な仕事に就いておりました。特に陸軍で長年主任研究員として人間工学・職業安全・温熱数値モデリング等の分野で研究に携わりました。現在、アメリカとは異なる青森・八戸の環境・文化の適応に切磋琢磨中です。そういう自分の姿を見せながら、学生に少しでも様々な異文化に興味を持ってもらう様工夫し、彼らの素晴らしい才能・技術を海外で開花できるよう努力して参る所存です。どうぞよろしくお願いたします。

- ① 葛西 一宏
- ② 青森県弘前市
- ③ 総務課課長補佐（総務担当）
- ④ 弘前大学医学部附属病院経理調達課

4月1日付けで総務課課長補佐として着任しました葛西と申します。弘前大学から参りました。

生まれも育ちも弘前市、前職の弘前大学も市内にあり、他を知らないままここまで大きく（年ばかり）なっていました。

高専の事務は初めてで、制度の違いや前任地では病院の医療機器購入が主体の業務だったこともあり、先生の対応や総務課長補佐の業務に右往左往汗をかきながら毎日をご過ごしております。

国際交流や自主探究など他高専よりも先を進んでいることもあって業務のスピードも速く、遅れることなくついて行けたらと思っている次第です。

海も近く八戸の文化に触れながら、お役に立てるよう仕事をしたいと思います。

よろしくお願いたします。

- ① 今野 大輔
- ② 宮城県仙台市
- ③ 環境都市・建築デザインコース 助教
- ④ 東北大学大学院 博士後期課程

今年度の4月から、環境都市・建築デザインコースの助教に着任いたしました、今野大輔と申します。私も10年程前は高専生でしたので、今度は教員という立場で高専という環境に戻ってこれる事ができ、大変嬉しく思っています。

専門は「建築構造」で、地震や強風等の自然災害に対して、いかに安全な建物を作るか、ということテーマに研究をしています。

環境都市・建築デザインコースは、「建築」の分野と「土木」の分野が融合している日本では珍しいコースで、私自身まだまだ学ばせていただくことばかりですが、今までに無い視点で物事を考えることができ、刺激的な毎日を過ごしています。そのような場で学ぶ学生の皆さんが、幅広い視野を持って社会に飛び立てるよう、精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願いたします。

- ① 黒澤 喜一
- ② 岩手県上閉伊郡大槌町
- ③ 学生課課長補佐
- ④ 岩手大学学務部入試課入試グループ主査

4月1日付けで着任しました。採用は東北大学でしたが、20年ほど前に岩手大学に異動し、現在に至っております。

自宅のある盛岡から新幹線通勤をしております。八戸から盛岡にある岩手大学に通勤している方は何人かいますが、盛岡から八戸高専に通勤というケースはあまり聞かないかもしれません。

高専での事務経験は初めてとなります。八戸高専では、前職の岩手大学と同様に入試業務を主に担当しておりますが、大学と高専との制度や、事務の進め方の違いに戸惑い、さらに課長補佐という立場になり（なってしまう）、悪戦苦闘する日々を送っております。

課長補佐としては、未熟な点が多いですが、前職での上司の口癖である「学生第一」というポリシーを基本に、皆様に迷惑をかけないように頑張りたいと思います。

新任教職員紹介

- ① 氏名
- ② 出身地
- ③ 所属・職名
- ④ 前職

- ① 都 筑 尚
- ② 青森県三戸郡南部町
- ③ 総務課総務係・一般職員
- ④ 株式会社Jサポート 医療通訳部門

3月1日付けで採用になりました、都筑と申します。東京の大学を卒業後一度八戸に戻り、その後オーストラリアのメルボルンを経て再び八戸に戻って参りました。戻ってきてすぐに、やはり八戸はいいところだと実感しております。

繁忙期である3月に入社し1ヶ月で部署移動となり、4月から気持ちを新たに総務課総務係としてスタートしました。偉大な先輩職員の方々に支えられ、業務に携わらせていただいております。総務係はたくさんの学生や教職員、事務職員と接する機会があり个性的で楽しく、明るい皆様の中で私自身も楽しみながら業務に向き合っております。

これから微力ではございますが笑顔を絶やさずに一生懸命頑張りたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

- ① 間 山 由 香
- ② 青森県三沢市
- ③ 総務課財務係・一般職員
- ④ 株式会社小坂工務店

4月1日付けで採用になりました、間山由香と申します。山形県の大学を卒業後、地元の建設会社の賃貸不動産業務を経て、八戸高専に採用いただきました。

八戸市には休日に遊びに来ることも多く、美味しそうなお店を探してランチをしたり、また年末には館鼻漁港の朝市に行くことが恒例となっておりますので、八戸での生活が非常に楽しみでした。

今は職員の皆様に支えられ、早いもので採用されて2か月が経ちました。学校での業務は新鮮で、まだまだわからないことも多いですが、日々新しいことを吸収し勉強勉強の毎日です。

微力ではありますが、八戸高専のみなさまのお役に立てるように精一杯頑張ってお参りますので、どうぞよろしく願います。

- ① 風 穴 由香子
- ② 青森県青森市
- ③ 学生課学生係・一般職員
- ④ 八戸高専COC教務担当事務補佐員

4月1日付で学生課学生係に採用されました風穴由香子と申します。これまでは八戸高専でCOC教務担当事務補佐員として勤務をしており、その前は、専攻科エンジニアリングデザイン担当事務補佐員で1年間勤務しておりましたので、今年度で通算5年目を迎えます。

私の所属している学生課は、学生や教職員と関わる機会が多いので、毎日賑やかな中、目まぐるしい日々を過ごしています。

現在は、主に就職や就学支援金を担当しております。新しい係で不慣れなことが多く、窓口では学生の皆さんや教職員の方々には色々とお迷惑をおかけしておりますが、1日も早く業務を覚え、素早く対応できるよう努力して参ります。また、学生や教職員の皆さんが気軽に掛けやすい環境づくりを心掛けいきますので、今後ともよろしく願います。

- ① 石 川 久美子
- ② 青森県上北郡おいらせ町
- ③ 学生課 看護師
- ④ 三沢市保健相談センター

4月1日付けで採用され、保健室にいます看護師の石川久美子と申します。着任前は、病院で看護師として入院した患者さんを、市町村では住民の皆様の健康や保健予防に携わるお手伝いをしてきました。

保健室に来て、はやいもので3か月が経とうとしています。進むべき道を見つけようと、日々、学生の皆さんが授業や部活動に励む姿、両立する姿、目標に向かい努力する姿を毎日目にしています。皆さんが元気に充実した学生生活を送れるように、心身の健康面でお手伝いしていきたいと考えております。

学校という初めて就く場所で、至らない点が多々あると思っておりますが、学生の皆様同様、私自身も学び経験し、成長するよう努力します。お役に立てるように、精一杯がんばりますのでどうぞよろしく願います。

- ① 八 森 徹
- ② 青森県八戸市
- ③ 学生課入試・教務係・一般職員
- ④ 大学生

今年度の4月から、学生課入試・教務係に着任いたしました、八森と申します。高校まで八戸で育ち、東京都内の大学を昨年卒業し、今年からまた八戸にまた戻ってくることとなりました。

学生時代は野球ばかりしていたので、野球以外の事もできるよう周りの先輩方から少しでも学んでいきたいと思っております。

学校という環境で若々しい学生の皆さんのおかげで新鮮な気持ちで日々を送らせていただいております。

不慣れな点も多く周りの方々の助けのおかげでいろいろと経験を積ませていただいているところです。社会人1年目で皆様にご迷惑をかけることも多々あるかと思いますが、精一杯努力してまいりますので、今後ともどうぞよろしく願います。

北 辰 寮 か ら

北辰寮寮生会活動報告

寮務主事補 吉田 雅昭

1. ゴミゼロ運動実施

4月22日（日）の早朝、午前6時に今年度第1回目の530（ゴミゼロ）運動を行いました。この活動は北辰寮の恒例行事で、厚生委員会・衛生委員会・リサイクル委員会を中心に寮生のボランティアを募り、年3回の八戸市の530運動の実施に合わせて参加しています。今回は4月15日（日）の予定でしたが、当日雨天のため一週間延期しました。まずは、この活動にご協力いただきました学生、学寮担当の教員、そして何よりも中田面木町内会の皆様方にこの場を借りて改めて感謝致します。また、昨年、八戸市の「学生ボランティア活動支援助成金」の活用事業に採択され、今年度の「まちづくりインターン助成金活用事業」にこの活動の様子が紹介されました。八戸市のホームページに掲載されておりますので是非ともご覧ください。八戸市の530運動の歴史は大変古く、当市出身の私の記憶でも30年以上は継続した行事のように思います。全国的にも少子高齢化が進み、町内会などのコミュニティが主催する行事への参加率は年々低下しているようです。このことについて、学生も決して無関心ではられません。地域が元気になるには、やはり若い人の力が不可欠です。高専本科のアドミッションポリシーに「技術を通して社会に貢献する夢がある人」とありますので、日頃の学習や自主探究の成果を地域に還元できる人に成長して欲しいところです。今後の530運動は7月15日（日）、11月11日（日）開催予定です。これを機会に地域の清掃ボランティアに参加してみませんか？



2. 第54回北辰寮祭について

去る6月8日（金）から10日（日）まで北辰寮恒例の寮祭が開催されました。寮祭実行委員会を中心に、多くの寮生の協力と参加により、無事に終わることができました。ご協力ありがとうございました。なお、昨年まで1年生が夜祭（演芸会）に強制出場することになっていましたが、今年度は出場希望した人だけとしました。それでも昨年度と同じ程度の演目数があり、盛り上がっていました。一方、赤レンガ広場で例年露店を開いていましたが、今年度は希望者がまったくなかったため、取りやめとなりました。低学年生から高学年生までが参加し、一つの行事を創造することは、団結力を高めるだけでなく、学生相互のコミュニケーション能力育成の大変良い機会ですので、これまで寮祭を継続してきました。しかし、今年度は、露店がなく企画的にも盛り上がり欠ける寮祭という印象を受けました。これは、ちょうど、寮祭期間中が春学期到達度試験明けと5年生が進路を決める大事な時期に重なったことが原因だと思います。そこで、寮務委員会では、今後の寮祭の在り方を考える時期に来たと判断し、次年度に向けた寮祭実行委員会などの組織を早めに立ち上げたいと思います。今後の寮祭をどう改善したらよいか？案を持っている学生は、新旧実行委員会または寮務委員の先生方にお話していただくと助かります。どうぞ、よろしく願いいたします。

3. 学寮保護者懇談会を終えて

寮祭期間中の6月9日（土）午前中に学寮の保護者懇談会を開催しました。当日は、合併教室にて全体会を実施し、その後、各フロアに分かれてフロア別の集会や個別懇談を行いました。また、懇談会では、学年問わず日頃の保護者の悩み事を出し合いました。フロア担当教員や高学年の先輩の保護者の方々の説明で悩み事もある程度解決でき安堵された表情が印象に残りました。さらに、希望者には学寮の給食体験も実施され、食事に関する感想などを提出していただきました。午後には、居室訪問など寮祭の見学もされて、学寮での生活に触れていただく良い機会になったのではないかと思います。

平成30年度 国際交流活動

国際交流センター長 阿部 恵

○「グローバル高専」事業

平成30年度、本校は「グローバル高専」3年目となり、東北地区・北海道地区の高専の拠点校として、高専のグローバル化を引き続き拡大する立場にあります。グローバル高専事業として、(1) 学生対象のオンライン英会話、(2) グローバル・セミナー、(3) 異文化コミュニケーションワークショップ、(4) 教員のアリゾナ大学研修、(5) フォローアップ研修、などを予定しています。学生のみなさんは、ぜひ積極的に参加をしてください。

○タイ「チュラポーン王女サイエンスハイスクール」事業

本校は、平成31年4月からタイのトップクラスの学生対象に理工系教育を行う中高一貫の「チュラポーン王女サイエンスハイスクール」(12校)から、留学生を受け入れる高専(全国国立高専51校の6校)に選ばれました。タイの学生たちは15歳から5年間、または7年間本校で学んだ後、タイに帰国して日タイ産業人材を育成できる教員を目指します。来年4月から2年生に編入する2名の学生が7月31日から8月7日まで本校を訪問します。

○「KOSEN4.0イニシアティブ」事業

本校は、今年度「KOSEN4.0イニシアティブ」(国際交流部門)事業に採択され、(1) 国際自主探究、(2) 海外企業+インターンシップ、(3) モンゴル高専生の専攻科受け入れの検討、を実施予定です。具体的には、モンゴル研修(8月~9月)、シンガポール研修(9月)、モンゴル企業での課題解決(9月~12月)、タイのチュラポーン王女サイエンスハイスクールからの学生受け入れ(11月予定)などを予定しています。

なお、国立高等専門学校は、高専教育の海外展開を積極的に推進しており、海外の拠点となるリエゾンオフィスはモンゴル、タイ、ベトナムに設置しています。今後、海外の教育機関との交流がますます拡大される予定です。

学生の皆さんには在学中に、国際交流活動に積極的に参加してグローバルコンピテンシーを身につけ、英語をツールとして使いこなすコミュニケーションができる、国際社会で活躍するエンジニアを目指してほしいと期待しています。

☆平成30年度フランスからの受け入れ☆

今年4月から6月まで、フランス(リールA短期技術大学他)から4名の学生が本校の教員の指導のもとで研究を行い、6月19日に発表会を実施しました。フランスから7名の教員が来校して、評価を行いました。

☆平成30年度八戸高専国際自主探究校長特別奨学金☆(新規)

今年度、国際自主探究に参加する学生対象とした校長特別奨学金が新しく設置されました。国際自主探究に参加を希望する学生対象に、旅費などを支給する奨学金(全額補助)です。書類審査、作文、面接等により選考されます。

☆平成30年度「トビタテJAPAN」☆

第10期の募集が始まりました。これは、海外留学を希望する学生に全額補助する返済義務のない奨学金です。締め切りは、10月31日です。9月27日16時半から(場所:管理棟3階中会議室)で希望者対象に説明会を開催します。申請を希望する学生は、夏休み中に申請書を作成して、教員や総務係の担当者に確認をうけてください。

今年度も海外インターンシップ及び海外派遣を予定しており、下記の国に学生を派遣予定です。

交流国	日程	人数
アメリカ	平成30年8月	1
フランス(専攻科生)	平成30年9月~11月	4
ニュージーランド	平成30年9月	1
カナダ	平成30年9月~平成31年3月	1
シンガポール	平成30年9月	12
モンゴル	平成30年9月	7
モンゴル(専攻科生)	平成30年9月~11月	10 (予定)



就職・進学状況について

就職担当幹事

産業システム工学科長

長谷川 章

1. 現在の進路状況

今年度の本科5年生および専攻科2年生の6月11日現在の進路状況を表1および表2に示します。求人社数の傾向は、本科、専攻科ともに堅調に推移しています。求人倍率はどの学科も非常に高く、高専生に対する企業からの期待の大きさがうかがえます。

現在、本科全体の就職・進学希望者の割合は、就職進学ともに半々の割合です。好調な経済状況を背景に大手企業からの求人活動も活発ではありますが、進学希望者が増加してきています。また、専攻科全体の就職・進学希望者の割合は、就職が21%、進学が79%と大学院進学希望者が大多数となっております。

2. 今年度の就職活動

日本経済団体連合会（経団連）の2019年度入社対象の「採用選考に関する指針」によりますと、19年度入社予定者の採用選考活動も3年連続で17年度入社予定者の対応を維持し、指針や手引きの変更は行わないとのこと。企業の広報活動は3月1日以降、選考活動は6月1日以降、正式な内定日は10月1日以降となっております。しかしながら、実質的な動きは4月中に面談等が行われ、5月の連休前後には合否の連絡を頂いております。また、今年度は昨年度に比べて面談等の実施時期を早める傾向にあり、就職希望の学生は早めに応募先企業を決定する必要があります。現在、就職希望者のうち進路未定の学生のほとんどは、公務員志望で選考試験に向けて準備を進めているところです。

3. 進路を決めるにあたって

本校では、今年度よりキャリア教育・支援センター（センター長：戸田山みどり教授）が新たに設置され、キャリア教育プログラムが一層充実してまいります。学生自身が自らの将来像を描きそのためにどのような道筋が考えられるか、様々なキャリア教育プログラムを通じて検討することが可能になります。

具体的な進路の決定は4学年の11月に実施される保護者懇談会において就職・進学の選択を学生、保護者、担任の三者面談で決定いたします。そして3月上旬には応募先企業を決定する流れになり

ます。就職希望者は、数百にも上る求人企業の中から自分の希望する企業を決定しなければなりません。応募は学校推薦と一般応募の2つの方法があります。学校推薦では、合格率が比較的高く、ほとんどの企業が受験に必要な旅費、宿泊費を負担してくれます。しかし、併願はできませんし、合格した場合辞退することもできません。したがって、十分に企業研究を行い、可能であれば見学等をしたうえで応募することを勧めます。なお、企業によっては一般応募のみの採用活動を行っている場合もあります。この場合は複数同時に応募することも可能です。いずれにせよ企業研究が非常に重要になります。本校の就職情報検索システムや各種企業内容説明会の機会を利用して、できるだけ多くの情報を得たうえで応募するように心がけてください。

進学を希望する学生は、大学で開催されるオープンキャンパスに参加するなどして大学を訪れてみるとよいでしょう。大学の雰囲気を感じることが出来ます。また、各コースの進学相談担当者に入試情報等問い合わせをすることも可能です。

最後に就職・進学ともに面接や応募書類で「高専時代一番頑張ったことは」という質問がよくあります。学修の他、部活動や学生会、寮生会、ボランティア、海外経験等を積極的に利用し、それらの経験を披露できるような学生生活を送っていただきたいと思えます。

表1 本科進路状況（6月11日現在）

学 科	M	E	C	Z	
卒業予定者数	38 (2)	49 (6)	46 (23)	41 (13)	
就 職	希望者数	21 (1)	27 (4)	22 (16)	18 (10)
	求人社数 (昨年同時期)	597 (629)	618 (658)	371 (424)	401 (446)
	求人倍率	28.4	22.9	16.9	22.3
	進学希望者数	17 (1)	22 (2)	24 (7)	23 (3)

() は女子内数

表2 専攻科進路状況（6月11日現在）

コ ー ス	AM	AE	AC	AZ	
卒業予定者数	9 (0)	6 (0)	10 (6)	3 (0)	
就 職	希望者数	3 (0)	0 (0)	3 (1)	0 (0)
	求人社数 (昨年同時期)	494 (504)	505 (526)	315 (334)	347 (370)
	求人倍率	164.7	-	105.0	-
	進学希望者数	6 (0)	6 (0)	7 (5)	3 (0)

() は女子内数

男女共同参画委員会から

無意識のバイアスと戦う

男女共同参画委員長
戸田山 みどり

八戸高専ではこの春、8年ぶりに待望の女性教員をお迎えすることができました。これでようやく女性教員は6名になりましたが、それでもまだ比率では9.5%でしかありません。いっぽう、現在の本科と専攻科をあわせた学生数893名のうち女子学生は約28%です。高専機構の資料によれば、昨年5月の段階で全国の国立高専における女子学生の比率は19.4%だったのに対し、女性教員の比率は10.5%となっています。八戸高専は全国的に見れば教員の比率は若干少なめ、いっぽう学生に関しては、工学コースのみの学校にしては女子学生が例外的に多い、ということになります。

高専に女性教員が少ないのにはいくつかの理由が考えられますが、一番の理由としては工学を専攻する女性がこれまで少なかったということが挙げられます。工学は女性には向いていないだろうという意識が保護者や小中学校の教員などの大人の側にあると、子どもたちはそのように思い込むようになります。そのような障害を乗り越えて運良く高専や大学の理工系にすすんだ場合でも、今度は研究者をめざそうとするかどうかの問題があります。とくに工学の研究者はグループを率いるリーダーとなる必要がありますが、今もどこかに女性は控えめであるほうがよい、という気持ちが残っているようで、女子学生自身がリーダーをめざすことにためらいを持つようです。この「人前に立ちたくない・責任を負いたくない」という感情は既に社会に出ている女性にも意外に根深く、そのために逆に、だから女性には責任ある立場を任せるのは酷だろう、という余計な「配慮」を招いている実態も指摘されています。

実は、今回の女性教員の採用は「女性限定公募」をいう思い切った手段によって実現できました。今まで積み重なってきた無意識のバイアス(偏見)を超えて女性教員を増やすには、女性研究者に対する強い応援の姿勢をアピールする必要があります。と同時に、本校の女子学生が心から自分の能力を信じることができるように、学校全体として応援していきたいと思えます。

キャリア教育・支援センターから

一貫したキャリア教育をめざして

キャリア教育・支援センター長
戸田山 みどり

学生の卒業後の進路を視野に入れた教育をめざして、八戸高専ではこの春新たにキャリア教育・支援センターをたちあげました。運営するのは各コースの教員と学生課の事務部です。

本校の現在の卒業後の進路は、ここ数年の平均で見るとほぼ就職6割、進学4割という状況が続いています。これは、全国の高専の平均と重なります。進学する学生のうち約半数が八戸高専専攻科に進学、残りはそのほとんどが国立大学の工学部や隣接する理工系の分野へとすすみます。また、専攻科に入学した学生の約半数は東北大学などの大学院修士課程に進学しています。本科1年に入学した学生の約1割に当たることになります。

就職を希望する場合、今年は人手不足による求人難を反映して、かなり好条件で内定が決まっているようです。それでも就職後のことを考えると、社会人として生きていくために必要なコミュニケーション能力や思考力などを低学年のうちから意識してほしいと思えます。また、大学や専攻科へ進学した場合と卒業後すぐに就職した場合の、それぞれの将来の見通しも、低学年のうちから情報として提供したいと思えます。

そのため、本センターでは4月の新学期開始早々に新入生対象の進路説明会や新4年生への情報提供を実施したほか、7月には2年生対象の進路説明会、3年生対象として本校の圓山校長による講演会、4年生対象のマナー講座などの行事を実施し、学校全体としての指導をはかっています。

秋にかけては、8月に弘前大学オープン・キャンパス、10月には岩手大学オープン・キャンパスへの引率をそれぞれ予定しているほか、専攻科学生対象に東北大学の研究室見学も調整中です。

いっぽう、昨年度まで独立して実施していた低学年向けの学習支援制度(高学年の学習メンターによる指導)は、今年度より本センターが運営していくことになりました。低学年生の学習を保証すると同時に、担当する高学年の学生にとってはそれ自体がキャリア形成の一助となるよう、キャリア教育の質の向上をはかっていきます。

COC/COC+ 事業

COC事業推進責任者
丸 岡 晃

八戸高専では、文部科学省によって支援されているCOC/COC+事業を実施しています。ここでは、以下に平成30年度に実施する8月以降の社会貢献事業を紹介します。対象の記載のないものは一般聴講できますので、興味のある方は奮ってご参加ください。八戸高専と学生の地域での関わりや活躍の様子を知る良い機会になると思います。
※COC事業の詳細は、下記URLをご参照下さい。

<http://www.hachinohe-ct.ac.jp/coc/>

○化学の学校 (COC)

日時：8/4 (土)、8/5 (日) 10:00～16:00
場所：八戸高専
対象：中学生、保護者、中学校教員

○元校長井口泰孝先生講演会 (COC)

日時：8/28 (火) 16:00～17:00
場所：八戸プラザホテル

○あおり県企業内容説明会 (COC+)

日時：10/13 (土) 10:00～17:00
場所：八戸パークホテル
対象：学生・教職員

○第5回まちなか文化祭in八戸 (COC)

日時：12/22 (土) 10:00～15:00
場所：八戸ポータルミュージアムはっち

○クリスマス・レクチャー (COC)

日時：12/25 (火)
場所：八戸高専
対象：中学校教員

○イノベーション・ベンチャー・アイデアコンテスト (COC+)

日時：12/1 (土) 10:00～16:00
場所：グランドサンピア八戸

○ライフ成果報告会 (COC+)

日時：2/22 (金) 13:30～16:30
場所：八戸ポータルミュージアムはっち

○最終成果報告会 (COC)

日時：2/26 (火)
場所：八戸ポータルミュージアムはっち

図書館の 今年度の予定

図書館長 工 藤 憲 昌

今年度の図書館の活動については次の事を計画しています。

<読書習慣を身につけるための各種行事の充実>

- ・ブックハンティング
- ・ビブリオバトル
- ・ニュースレターの発行
- ・学生会図書委員会の活動支援

<学外行事への参加>

- ・青森県高等教育機関図書館協議会（7月初旬開催予定）
- ・東北地区高専図書館連絡協議会

<平成30年度図書館委員会行動計画>

- ・交流室の積極的な活用の推進
- ・読書習慣を身につけさせるための各種行事の充実
- ・蔵書点検の実施
- ・資格試験コーナーの充実

<その他>

- ・図書館ホームページの改修について
現在、新ホームページへの改修を行っている段階です。

八戸ブックセンターとの連携「ひと棚選書」

本のまち八戸推進の拠点施設「八戸ブックセンター（H28秋に開設）」内に「ひと棚」を設置し、来館者の「本との出会い」創出の試みとして、市内の高等教育機関の教員が推薦する書籍が、3カ月間交代で常設ブースに陳列されます。

本年度では4人の教員の皆様から図書を紹介して頂く予定です。

寄贈図書の受け入れについて

本高専教職員2名から図書の寄贈の申し込みがあり、受け入れさせていただきました。ありがとうございました。



相談室から

相談室長 矢口 淳一

相談室では、心身の変調や悩みのある学生に対して、カウンセラーによる支援を行ってきています。精神科医も下記のように定期的に来校していますので、保護者の皆様もお気軽にご相談ください。

青年期に発症する精神疾患が疑われる場合やうつ状況など、何かしらの異変を感じたり、異変に関する情報を得たら、担任や相談室関係者等にご相談ください。早期の対応が大切です。

小中学校で発達障害等の診断を受けている場合や、発達障害等が疑われる場合で支援が必要と思われる際にはお知らせください。障害を理由とする差別の解消に関する相談窓口を設けておりますので、ご相談の上支援チームを組むなど、適切に対応していきます。

いずれの場合も**秘密は守られます**。

相談室では、学生達が積極的な人間関係づくりができるように努めていきます。

相談室の担当は次の通りです。

◎カウンセラーと主な担当曜日

笹 博 (医師・ささクリニック院長)

第2・4水曜日 担当

中西 智子 (臨床心理士)

第3・5水曜日 担当

坂本 玲子

(産業カウンセラー・スクールカウンセラー)

第1・3木曜日 担当

石川 善子 (臨床心理士)

第2・4木曜日 担当

土屋 文彦 (臨床心理士)

第1金曜日・第2火曜日 担当

詳しくは、窓口にお問い合わせください。

校内に「カウンセラー来校日のお知らせ」ポスター、各教室内に「相談室からのお知らせ」も掲示しています。

◎インターカー (窓口)

石川 久美子 (看護師、保健室)

電話 0178-27-7236

◎相談員

各コースの教員を配置し、保健室の談話スペースに日替わりで詰めています。夏学期の懇話室担

当日は次の通りです (授業日の16:00~17:00)。

月曜日: 齊藤 貴之 電話 0178-27-7292

(副室長、マテリアル・バイオ工学コース)

火曜日: 中ノ 勇人 電話 0178-27-7288

(電気情報工学コース)

水曜日: 古谷 一幸 電話 0178-27-7263

(機械システムデザインコース)

木曜日: 戸田山みどり 電話0178-27-7260

(総合科学教育科)

金曜日: 矢口 淳一 電話 0178-27-7305

(室長、環境都市・建築デザインコース)

◎教職員向け相談員

専攻科棟3階演習室3・4で下記に示した時間で詰めています。主に教職員のためですが、**学生でも相談できます**。

(夏学期担当曜日)

月曜日15:00~17:00

今野 恵喜 相談員 (名誉教授)

火曜日13:15~15:15

石川 正子 相談員

水曜日15:00~17:00

鳴海 哲雄 相談員 (名誉教授)

☆学生本人と保護者の方々が利用になれる高専機構の「KOSEN健康相談室」フリーダイヤル0120-50-24-12もあります。(受付時間:24時間365日)

□これまでの取り組みとこれからの予定

1. 構成的グループエンカウンターの実施(1年生)
<4月下旬~5月始め>

人間関係づくりや思いやりのある学級づくりに効果が期待される取り組み

2. Q-U (Questionnaire-Utilities) 検査の実施(1, 2, 3年生) <5月下旬>

学級運営や学生個人の支援に生かす取り組み

3. 「こころと体の健康調査」の実施(全学生)
<6月下旬>

学生のメンタルの不調をいち早く把握し、必要に応じ精神科医やカウンセラーなどによる専門的な面談を実施するなど、学生の自殺を未然に防ぐ取り組み

※ 1年生対象の「話してみよう! 1分間」は7月に実施の予定。

学生が相談しやすくなり、しかも相談できる相手の選択肢を広げる取り組み

第71回 青森県高総体結果

競技種目	会場	結果	備考
【団体の部】			
サッカー	弘前南高校サッカー場	2回戦敗退	
バドミントン（男子団体）	青森県武道館	1回戦敗退	
男子バスケットボール	八戸学院大学（八戸市）	2回戦敗退	
女子バスケットボール	八戸学院光星高校（八戸市）	1回戦敗退	
男子バレーボール	青森工業高校（青森市）	1回戦敗退	
女子バレーボール	マエダアリーナ	2回戦敗退	
ハンドボール	野辺地高校	1回戦敗退	
卓球（男子団体）	マエダアリーナ	5位（ベスト8, 準々決勝敗退）	
柔道（男子団体）	五所川原市民体育館	決勝トーナメント進出（ベスト16）	
ラグビーフットボール	あじゃら運動公園	Bブロック2位	
【個人の部】			
水泳：男子 50m自由形	鱒ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	予選敗退	松 橋 和
水泳：男子 100m自由形	鱒ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	予選敗退	松 橋 和
水泳：男子 50m自由形	鱒ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	予選敗退	蛭 名 曹 太
水泳：男子 100m自由形	鱒ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	予選敗退	蛭 名 曹 太
水泳：男子 200m個人メドレー	鱒ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	決勝8位	松 川 和 磨
水泳：男子 200m背泳ぎ	鱒ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	予選敗退	松 川 和 磨
水泳：男子 100mバタフライ	鱒ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	決勝7位	嵯 峨 駿 佑
水泳：男子 200mバタフライ	鱒ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	決勝8位	嵯 峨 駿 佑
水泳：男子 200m個人メドレー	鱒ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	予選敗退	佐 藤 光 翼
水泳：男子 400m個人メドレー	鱒ヶ沢町スポーツセンター室内温水プール	予選敗退	佐 藤 光 翼
陸上競技：(200m)	青森県総合運動公園陸上競技場	準決勝敗退	水 口 広 太
陸上競技：(400m)	青森県総合運動公園陸上競技場	2位	水 口 広 太 ・東北総体出場
陸上競技：(やり投)	青森県総合運動公園陸上競技場	10位	井 筒 将 大
陸上競技：(100m)	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	上 沢 悠 三
陸上競技：(400m)	青森県総合運動公園陸上競技場	準決勝敗退	上 沢 悠 三
陸上競技：(800m)	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	小 橋 良 真
陸上競技：(800m)	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	田 中 大 陽
陸上競技：(110mH)	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	對 馬 惇 史
陸上競技：(円盤投)	青森県総合運動公園陸上競技場	記録なし	前 田 平 大
陸上競技：(200m)	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	畑 中 祐 香
陸上競技：(800m)	青森県総合運動公園陸上競技場	予選敗退	宮 珠 莉
陸上競技：(走高跳)	青森県総合運動公園陸上競技場	記録なし	根 城 響 子
陸上競技：(砲丸投)	青森県総合運動公園陸上競技場	記録なし	福 田 知 子
陸上競技：(円盤投)	青森県総合運動公園陸上競技場	12位	福 田 知 子
卓球：男子（シングルス）	マエダアリーナ	2回戦敗退	上 野 陸 斗
卓球：男子（シングルス）	マエダアリーナ	2回戦敗退	原 颯 杜
卓球：男子（シングルス）	マエダアリーナ	2回戦敗退	齋 藤 皐 滉
卓球：男子（シングルス）	マエダアリーナ	1回戦敗退	小 川 大 智
卓球：男子（ダブルス）	マエダアリーナ	8位	原 ・ 森 岩
卓球：男子（ダブルス）	マエダアリーナ	2回戦敗退	上 野 ・ 齋 藤
柔道：女子	五所川原市民体育館	第3位	赤 石 知 観

第55回 東北地区高等専門学校体育大会結果一覧

平成30年6月29日（金）～平成30年7月1日（日）

団体の部

競技開催校	競技名	大会会場	男子	女子
仙台高専 (名取)	陸上競技	弘進ゴムアスリートパーク仙台 (仙台市陸上競技場)	第3位	第1位
	ハンドボール	仙台市若林体育館	第3位	—
鶴岡高専	サッカー	小真木原陸上競技場 小真木原東多目的広場	第3位	—
	バドミントン	小真木原総合体育館	1回戦敗退	—
秋田高専	ソフトテニス	秋田県立中央公園テニスコート (雨天時) 男子：秋田高専第1,2体育館/女子：光沼アリーナ	第3位	—
	柔道	秋田県立武道館 (柔道場)	第4位	—
一関高専	バレーボール	一関市総合体育館 (ユードーム)	第2位	第3位
	卓球	東山総合体育館	準優勝	第3位
八戸高専	硬式野球	六戸町総合運動公園野球場 軽米町営野球場	1回戦敗退	—
	バスケットボール	八戸市体育館	第3位	第2位
仙台高専 (広瀬)	水泳競技	スパッシュランドしろいし	第6位	第4位
福島高専	テニス	上荒川公園平テニスコート (雨天時) 上荒川公園総合体育館及び福島工業高等専門学校体育館	予選敗退	—
	剣道	上荒川公園総合体育館	第7位	第4位

個人の部

競技名	種目名	クラス	氏名	成績	全国大会日程
陸上競技	男子100m	E2	上沢悠三	第3位	平成30年8月25日(土)～26日(日) 熊本県民総合運動公園陸上 競技場・えがお健康スタジアム
	男子200m	M3	水口広太	第1位	
	男子800m	L3	立崎達也	第2位	
	男子1500m	C5	小山浩亮	第3位	
	男子5000m	C5	小橋和樹	第3位	
	男子110mH	Z5	赤坂健太	第1位	
	男子3000mSC	C5	小山浩亮	第2位	
	男子4×100mR	M5	川渡拓真	第1位	
		E5	高比座海斗		
		M3	水口広太		
		E2	上沢悠三		
	男子走高跳	Z5	赤坂健太	第2位	
	男子走幅跳	E5	高比座海斗	第3位	
男子三段跳	E5	高比座海斗	第2位		

第55回 東北地区高等専門学校体育大会結果一覧

個人の部

競技名	種目名	クラス	氏名	成績	全国大会日程
陸上競技	男子やり投	M3	井筒将大	第1位	平成30年8月25日(土)～26日(日) 熊本県民総合運動公園陸上 競技場・えがお健康スタジアム
	女子800m	L2	飯田璃咲	第1位	
	女子800m	Z3	宮珠莉	第2位	
	女子4×100mR	L1	福田知子	第2位	
		C5	津村舞奈		
		Z3	畑中祐香		
		C2	中島彩稀		
	女子走高跳	C5	津村舞奈	第1位(同着)	
	女子走高跳	L2	根城響子	第1位(同着)	
	女子砲丸投	L1	福田知子	第1位	
	女子砲丸投	L2	根城響子	第2位	
女子円盤投	L1	福田知子	第1位		
バドミントン	男子シングルス	Z4	赤坂綾斗	第3位	平成30年8月25日(土)～26日(日) 牧園みやまの森運動公園 総合体育館「まきぞのアリーナ」
柔道	女子	Z2	赤石知観	第1位	平成30年8月25日(土)～26日(日) 大分県立総合体育館
卓球	男子シングルス	M3	原颯杜	第1位	平成30年8月25日(土)～26日(日) 北九州市立総合体育館
	男子シングルス	Z5	山本凌	第2位	
	男子シングルス	E2	森岩昂弘	第3位	
	男子ダブルス	Z5	山本凌	第2位	
	男子ダブルス	Z4	畑中亮祐	第2位	
	女子ダブルス	Z4	中山美優	第3位	
	女子ダブルス	Z2	樋口こころ	第3位	
テニス	男子シングルス	Z3	佐々木駿	第1位	平成30年8月21日(火)～23日(木) 熊本県民総合運動公園 パークドーム熊本
水泳競技	男子800m自由形	C1	佐藤光翼	第3位	平成30年9月1日(土)～2日(日) 長崎市民総合プール
	男子200mバタフライ	M3	嵯峨駿佑	第3位	
	男子800mリレー	C1	佐藤光翼	第2位	
	男子800mリレー	C1	和田基	第2位	
	男子800mリレー	M3	嵯峨駿佑	第2位	
	男子800mリレー	C3	松川和磨	第2位	
	女子200m自由形	C1	佐々木一乃	第2位	
	女子100m背泳ぎ	Z4	梶本知里	第3位	
	女子200m個人メドレー	Z4	梶本知里	第2位	

学 生 表 彰

○平成29年度 学年学業成績優秀賞

氏 名	進 級 後 ク ラ ス
【1年次成績部門】	
麦 沢 祐 人	機械システムデザインコース2年
上 沢 悠 三	電気情報工学コース2年
ガルプレス ハンナ	マテリアル・バイオ工学コース2年
粒 来 桃 子	環境都市・建築デザインコース2年
【2年次成績部門】	
水 口 広 太	機械システムデザインコース3年
山 地 龍 生	電気情報工学コース3年
三 浦 菜々美	マテリアル・バイオ工学コース3年
長 内 悠 真	環境都市・建築デザインコース3年
【3年次成績部門】	
上 野 晴 奈	機械システムデザインコース4年
山 一 竜 光	電気情報工学コース4年
小 林 瑠 那	マテリアル・バイオ工学コース4年
織 笠 歩 夢	環境都市・建築デザインコース4年
【4年次成績部門】	
軽 米 健 成	機械工学科5年
東 山 聖 生	電気情報工学科5年
田 中 侑 己	物質工学科5年
橋 本 龍	建設環境工学科5年
【専攻科成績部門】	
陣 場 優 貴	機械システムデザインコース2年
日 脇 陸 生	環境都市・建築デザインコース2年

○学習到達度試験優秀賞

科 目	学 科	学 生 氏 名
数学 (1位)	機械システムデザインコース	渡 場 誠 史
物理 (1位)	電気情報工学コース	中川原 拓 海

○三ヶ年皆勤賞

機械システムデザインコース	電気情報工学コース	マテリアル・バイオ工学コース	環境都市・建築デザインコース
石 川 貴 大	小 橋 正 幹	太 田 千 紘	赤 坂 綾 斗
上 野 晴 奈	齋 藤 伸	小 林 瑠 那	一 戸 佳 乃
苅 谷 龍 一	関 川 みなみ	佐々木 瑚太郎	上原子 慧 悟
川 村 一 輝	高 橋 駿 平	佐 藤 智 哉	北 上 啓 生
木 村 龍 一	中川原 拓 海	澤 口 亜 美	小 泉 宏 喜
小 泉 基	長 根 知 己	菅 野 由 夏	大 坊 美寿紗
佐々木 理 貴	平 出 優乃介	中 野 広 大	中 村 晴 菜
二 橋 陽一郎	堀 畑 舞 雪	沼 田 頌 大	中 山 美 優
盛 内 蒼 良	山 一 竜 光	平 井 大 晴	畑 中 亮 祐
		藤 原 夏 美	福 井 ひなの
			藤 島 烈

「保護者の声」設置について

保護者と学校の連携を密にし、よりよい教育を推進するため、下記のとおり「保護者の声」を設置しております。

お子さんの就学上のこと、学校に対する要望、ご意見など、無記名で結構ですので、郵便・電話・FAX・e-mail等で随時下記の連絡先までお寄せください。

《連絡先》

八戸工業高等専門学校 総務課総務係
TEL 0178-27-7223 FAX 0178-27-9379
e-mail:somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

授業料等の納付について

後期分授業料の口座振替を、10月26日(金)に行います。(就学支援金額未決定者、授業料免除申請者を除く)

寮生は、10月～3月の寄宿料及び学寮運営費も併せて振替になります。

金額を確認のうえ、振替日前日までに届出口座にご準備ください。

単位：円

授業料		寄宿料		学寮 運営費	振替 手数料
1～3年	4年～	複数室	個室		
117,300	117,300	4,200	4,800	57,000	66
*57,900					

※ 就学支援金受給対象者の例(加算支給なしの場合)

授業料等を期日(前期分9月、後期分3月)までに納付しない者は、授業料等未納により除籍などの処分になる場合がありますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】総務課財務係 TEL 0178-27-7228

学生課学生係からのお知らせ

平成30年度後期授業料免除(4年生以上)の申請受付期間は以下のとおりです。

・申請受付期間 9月3日(月)～9月28日(金)
(土・日・祝日および学校閉鎖期間を除く9:00～17:00まで)

申請期間以降の受付はできません。必ず期間内に申請してください。また、申請書類に不備がないよう提出前に確認してください。

なお、前期申請時に後期分も申請した学生は提出不要です。

3年生以下については、高等学校等就学支援金制度があるため、次の場合に限り申請を受け付けます。

・納期前6月以内に、主たる学資負担者が死亡または風水害等の災害を受けた場合

【授業料免除等に関する問い合わせ先】

学生課学生係 TEL:0178-27-7235

平成30年度 公開講座

- 環境都市・建築デザインコース公開講座
シリーズ ーまちづくり講演ー
日 時：6月2日(土)
対 象：中学生、保護者、中学校教員、一般
- 環境都市・建築デザインコース公開講座
シリーズ ー建築模型ー
日 時：7月14日(土)
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- メカnoワールド体験塾 Aコース
日 時：7月21日(土)
対 象：中学生、中学校教員
- 環境都市・建築デザインコース公開講座
シリーズ ー水の環境調査ー
日 時：8月4日(土)
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- 化学の学校
～マテリアル・バイオ工学の世界へようこそ～
日 時：8月4日(土)・5日(日)
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- ロケットはなぜ飛ぶか
～PETボトルロケットコンテスト～
日 時：8月18日(土)
対 象：小学生
- 環境都市・建築デザインコース公開講座
シリーズ ーブリッジコンテストー
日 時：9月1日(土)
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- ジュニアロボット教室
日 時：9月29日(土)
対 象：小学5年生以上、中学生
(小学生は保護者同伴)
- メカnoワールド体験塾 Bコース
日 時：10月6日(土)
対 象：中学生、中学校教員

